

きぼうのいえ ニュースレター



2013年 秋号

特定非営利活動法人 きぼうのいえ
〒111-0022 東京都台東区清川2丁目29番12号

電話：03-3875-7523 Fax：03-3875-7525
E-Mail：kibounoie777@mbm.nifty.com
ホームページ：http://www.kibounoie.info



ハコモノ作って魂は・・・？

施設長 山本雅基

ハコモノ行政ということばがある。役所が大きな建物をたてて、それであたかも仕事が完結したかのようであることを、批判めいたことばで言い習わしたものだ。

僕は、仕事からいろんな役所や公共の建物を使って講演などを行うことも少なくない。そんなとき、時折、この建造物は本当に使う人の立場に立ってつくられたのかなあと思うことがある。エントランスばかり広くて、使いにくいとか、デザイン優先なのかなあとといったことである。

ひるがえって、僕のホームグラウンドである山谷を見詰めなおしたとき、目の前には、家族経営でやっているようなドヤ(簡易宿泊所)街が一面に広がっている。

生活保護を受けている元日雇い労働者のおじさんたちの居室は平均して、2.5畳から3畳一間が普通だ。ある知り合いのおじさんは、自分の部屋にいると窮屈で気が変になりそうだから、路上に出てくるんだよねとって、住環境の悪さを嘆いていた。そんな目で山谷の街並みを見ると、何かお金の使い方が間違っているような気がしてならない。生活保護を受けているんだから、多少の手狭さなんか我慢しなさいよ、といった声が役所の方から聞こえてきそうである。

実は、山谷の街と隣り合わせに、旧郵政局の建物として使われてきた10,000平方メートルの敷地があり、その使い道をめぐって議論が起きようとしている。3年後には、新しい使い道が決まってオープンするという。

ハコモノ行政を強力に推進した時代があった一方で、狭い処に押し込められている貧困層の人々がいる。僕はそこに大きな疑問を感じてならないのだ。ハコモノを作るのはいいのだが、適材適所という発想が欠落したまま予算を落とし続けてきた時代のひずみがここ山谷にもある。何とかこの10,000平方メートルの区画に低所得者層向けのアパートメントを作ることはできないかと敷地の前を通るたびに僕は思う。

お寺では、仏様の像を作るとき、完成すると開眼式というのを行う。仏像に魂を入れるセレモニーだ。一方でハコモノだけ作って魂を入れなかったという無策の時代があったことに厳しい反省を加えて、ハコモノさえも不足しているという現実が目前にあることに思いをいたす必要がある。そして人間が人間らしく生きることができる建物に魂を入れて、「魂の計画の下」に利用者の利便を図った、こころある街づくりが必要なのではなかろうか。

超高齢社会が到来して、高齢独居の人々が激増する時代がもう目の前に来ている。それに備えるための心ある政策が今求められているのだ。

きぼうのいえでは私どもの活動にご賛同頂ける皆様方にご支援・ご寄付をお願いしています。

振り込み方法は ①郵便振替、②銀行振込み、③インターネット募金 の3つがあります。

ご協力頂けますよう、お願い申し上げます。

① 郵便振替の場合

郵便振替番号:

00190-6-388670

名義: きぼうのいえ後援会

② 銀行振込の場合^(※1)

みずほ銀行 三ノ輪支店 普通

口座番号: 1284037

名義: 特定非営利活動法人きぼうのいえ

③ インターネット募金

ホームページからアクセスして、

カード決済することもできます。

<http://www.kibounoie.info/index.html>

※ 1 銀行振込の方で領収書が必要な方はメール等で連絡先をお知らせ下さい。

正会員希望の方は、お手数ですが事務局までご一報下さい。

金の斧 銀の斧
by 里野 秋



ティー・サービスではこの半年ほど、スタッフTさんが月1回紙芝居をやっています。1回10分程度、ただし枚数は1話平均約32枚とやや多め。レパートリーはすでに1ダースもあって、「浦島太郎」「耳なし芳一」「因幡の白兔」「シンデレラ」などです。まだ出張サービスは承っておりません。

日々のくらしにリズムを刻む

——毎週木曜、ティー・サービスやっています。

毎週木曜日に談話室で開かれているティー・サービス（お茶会）は、きぼうのいえで一番長く続いている由緒ある行事です。いつともなく始まったイベントで、この数年はベテランのマダムふたりが主催しています。キャラクターは凸と凹、ふたりともメガネです。その他、ボランティアの方数名が代わる代わるお手伝いしてくださっています。



お茶請けを準備するのはマダムWの係です。いつも花をもってきてくれるマダムWに注意点をきくと、「安くて、柔らかくて、美味しいの！（にこっ）」とのこと。一番人気はドラ焼きで、最近好評だった夕張メロンのゼリーのときは「バンザーイ」と歓声があがったそうです。でも、掃除機みたいにあっという間に吸い込んでしまい、結局「食べた気がしない！」と言われてしまったので、「やっぱり食べ応えのあるもののほうがいいみたい」とマダムSは見ています（ご寄付で頂戴したものは、こういう場などで活用させていただきます）。

昼食後、ふたりで準備を始めます。トレーにお皿、カップ、スプーン、ポット、砂糖にミルク、メインディッシュのお菓子、オマケのお菓子…を載せ、毒舌のマダムSが復唱して確認します。そして午後2時前、ごろごろとトレーを押しながら「出発〜」——なんだか機



内販売みたいよね？（マダムS談）



車椅子を使ったり、事前に声かけが必要なこともありますが、先日などは入居者のAさんが「11時から待ってたよー」と言うかと思えば、終わる5分前にならないと絶対に来ないTsさんがいたりして、それぞれのペースで、概ね勝手に来ては勝手に帰っていくという感じです。普段は社交的なHさんやKさんがいないのは、「ほら、あの方たちって耳が聞こえないから、大勢が楽しそうにしゃべっているのを見ると却って寂しいんじゃない？」——そういう方々のためには、会の始まるまえに部屋をまわってコーヒーとお菓子を届けます。

それほど広くもない談話室に入居者さんたちが集まると、肩を寄せ合うような感じになって、他の施設をよく知る職員に聞いたところでは、大きすぎず小さすぎず、自由にやっているところがいいのでは？とのことでした。しかし、最近は盛況で——と言っても最大10～12名程度ですが——、場所をとるアームチェアは撤去しました。

お茶は、誰々は熱いのが苦手なので水で薄め、誰々は2杯目は紅茶、誰々はココア…といったぐあいに、それぞれの希望に正確に対応します。けれど、やるほうは大変ですね、相手が10人程度で十分対応できてし

もうからこそ、20 通り以上の入れ方をしなければなりません、しかも笑顔で雑談を交えながら。「お茶」と言えばお茶が出てくる亭主関白のセンスではなかなかよくわからないかもしれません。



最近の面白いエピソードは？と聞くと、マダムふたりは顔をあわせて「H 夫人 (90 代) と Y 夫人 (80 代) のケンカかしらねー」。ケンカを楽しむくらいの余裕があってちょうどよいのかもしれませんが。そして一方の声が大きくなって他方がムスっとし始めたら、さりげなく話題を他のほうへそらすのだとか。

一方でお茶会は、入居者さんからのサービスを感じたりする場所でもあります。先日などは A さんが、お茶会でマダムふたりに聴かせたいんだと言って、どこからか仕入れてきたテープを念入りに視聴していました。また、最近では、比較的元気な方が多いせいか、入居者さん同士の社交の場としての意味も強まっているみたいです。



始まって1時間たつとタバコが解禁されます。この1時間だけの禁煙は、不思議なくらいよく守られています。ぷかーっとひと息ついて、やがて30分くらいすると、

ひとりふたり…と五月雨式に各部屋へ帰っていきます。そして2時間たったところでマダムふたりも引き上げるのですが、余韻を楽しむかのように何人かはずっとそこに残っておしゃべりをしています。

お茶会では、亡くなった方はなしは殆ど出ないそうです。そういう話は、あとで、ごく親しい間柄でだけ話したりするようです。

「海軍カレーみたいなものかしら？」——決して派手ではないけれど、こうしたお茶会がきぼうのいえの日々の暮らしに一定のリズムを刻み、下から支えています。



きぼうのいえの名物男・S氏が身を起こすことができなくなっから、もうずいぶんたちます。足も痩せ、言葉や意識の衰えも目立ち、おそらく「最期の日々」と呼ぶべき段階に入っているのですが、でも——

彼の前向きさには本当に驚かされます。先日などは寝たままべルトをしたというので何かと思ったら、歩行訓練のとき、支えるひとがそこを持つのだと言います。歩行訓練の予定なんて入っていないのに、とにかく試すだけ試してみたかようです。他の日には電動式の訓練機器について問い合わせ、あるいは木曜日にはお茶会に出るぞと言いつつ、先週ついに念願のお茶会再デビューを果たしました。ただ、からだを起こすことが殆どなくなったためか、自分で首を支えられず、ぐったりしていたそうです。

彼の記憶力のよさにも毎回びっくりします。手が届かないはずのテレビや冷蔵庫、棚の上や中でさえ、あそこには〇〇がある、ここには〇〇が…と、正確に把握しています。ほぼ完全に失明しているのに、S氏には「世界」が見えているのです。だから、スタッフは言われだいたいの用事は

S氏の「お手製の仏壇」

たとおりにすれば済みます。

そんな彼がこの夏、小皿をふたつ用意するようにとスタッフに言いました。店も指定したそうです。それをお盆にのせ、さらに数日後にはローソクを買ってくるようにと言いました。それからライターを準備させ、最後におにぎりを買ってくるように言いました。それはお供えものでした。彼は「お手製の仏壇」をつくっていたのです。

以前もS氏は空き箱などで「お手製の仏壇」をつくっていて、そのときは「これは自分の戒名が書いてある位牌なんだ」と少々自慢気に語っただけでした。それが掃除のときに破棄され、この夏ふたたび再建されたので、スタッフが気になって尋ねたところでは、その位牌には自分を生んだご両親への思いが込められるとのことでした。

それからお盆の時期がすぎ、数日たったおにぎりを下げていかと訊くと、S氏は「霊は、来てもらったあとはきちんと帰ってもらわないといけないからね」と答えたそうです。S氏は、動かなくなってきた身体で、指示だけを出しながら、ついに一個の儀礼を最初から最後まで完成させたのでした。

昔から愛嬌のよさや滑稽味を感じさせる人柄で、今でもアイディアマンのS氏ですが、この夏の出来事は厳かであるときえ感じます。あともう少しだけ頑張っ欲しいと願わずにはいられません。



ガーデニング部、絶賛活動中！



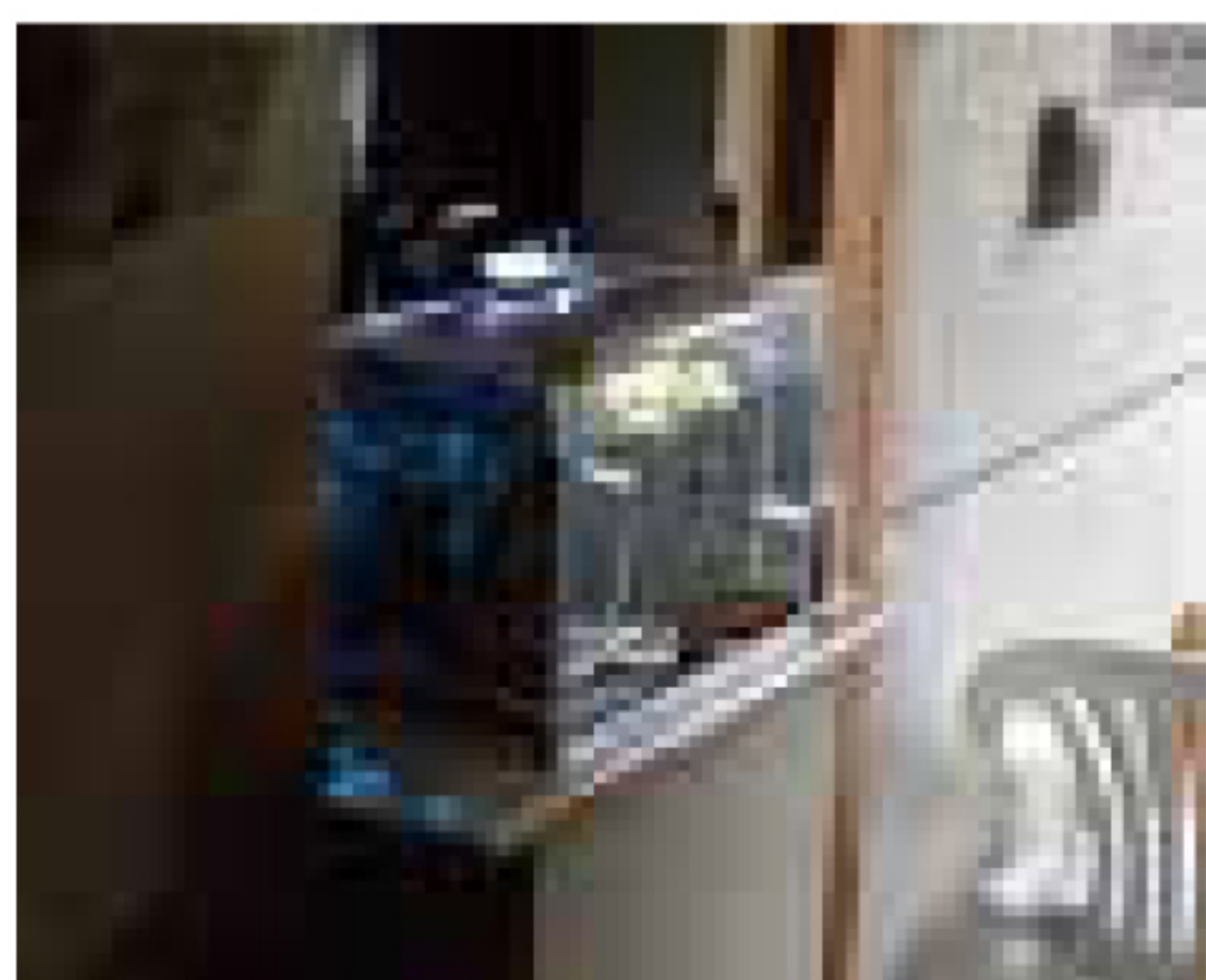
わたしの考えたガーデニング部の心得はつぎのとおりです。(1) 自然をこよなく愛し、(2) 都市の空気を浄化し、そして(3) ひとびとの心を癒すために率先して植物の育成に励むこと。わたしの場合、自宅の植木鉢のいくつかをこちらに持ち込みました。昼間は家にいないけど、こっちなら仕事の傍らで面倒をみれるので。草花をきっかけに、思いのほか話題が広がっています。(部長・スタッフT談)



花壇のお世話をしていたスタッフが退職したので、一時期は少し荒れた状況になっていました。が、思い切って花の手入れを始めたら、入居者Iさんの元花屋さんの血が騒いだのか、率先して花壇の世話をしてくれるようになりました。それからそれにつられたかのように、隣のなかよしハウスのBさんがコーヒー豆の残り滓をまくのが最近の日課になりました。どれだけ肥料として役立つのかわかりませんが…脱臭効果はあるみたいですね。



窓は開放的なほうが良いという入居者さんの部屋は避けつつ、ゴーヤーが快調に緑のカーテンをつくっています。将来、きぼうのいえは、「ああ、あのゴーヤーの建物だよ」と言われるようになるはずですか。(?)



メダカの学校も…

成田山へ一緒に行ったKさん(ニューズレター2013年春号参照)と一緒に祭へ行った際、金魚つりで金魚をたくさんつり上げてくれたのがきっかけでした。帰りに買った金魚鉢で育ててみようと思ったのですが、お祭りの金魚は傷ついていることが多いらしく、入居者さんたちは口々に「こんなんじゃすぐ死んじゃうよー」と言いました。案の定、金魚はすぐに全滅してしまったのですが、代わりにヘルパーさんからメダカを頂き、いまは「メダカの学校」が玄関脇を彩っています。日々のエサ係は入居者のYさんがやってくれることになりました。デイサービスのバスを待つみなさんも楽しんでくれているんじゃないかな？(スタッフI談)



農学部も設置されました(?)

せっかくだから食べられる植物も育てようと思い、イネも植えてみました。が、自給自足できるようになるまではまだ時間がかかりそうです…。



寄稿

暗記で記憶力を鍛えられるのか？

葛輝也（七十一歳）



五〇歳代後半のころからだろうか、記憶力の減退の著しさが自分で自覚されるようになって。テレビに出てくる俳優とか有名人、友人・知人の名前がでてこない。また文章を書いていて、書きたい事象や状況や自分の思いを表す適切な言葉がすぐのど元まで出ているのに、外に出てこないでいらつくこともある。

本をみると、記憶力というのは記銘（習得）、保持、想起の三段階があって、新しいことを覚えられないですぐに忘れるのは記銘力の衰えで、覚えていたことが思い出せないのが想起力の衰えである。加齢によりまず記銘力から衰えはじめて、その次に想起力が衰えるのだそうだと健康な健忘の場合は回復して思い出す。ど忘れというやつだ。

何か対策はとれないかと考えてみた。記憶力は「鍛える」ことができるものかどうか知らないが、長い文章を暗記することで記憶力の衰えを遅らせられないかと思いついた。

三年ほど前の夏、この時期は終戦記念日を前に先の大戦に関連したドキュメンタリーやドラマなど様々の記念番組がある。それらを視聴していて、戦争についての思いが募り、心の高ぶりがあった。そうした中で、暗記のために選んだのが、「終戦の詔勅」である。

私は別に右翼でも特別にナショナリストでもないが、やはりこの文章は日本の歴史を大きく画する、

古い時代の終焉を告げ、次の時代を呼び出すきっかけとなる、特別の意味をもっている。日本の歴史上そんな文章はめつたにない。

全部で一二〇〇字の長文だが、毎日数行ずつ覚えて全部を暗記するには一〇日以上かかる。声を出して唱えようと五分くらいかかる。

この文章を唱えれば、人々の慟哭と悲鳴とそして安堵の吐息が、血と涙の海を越えて、やまびことなつて聞こえてくるようだ。

一応最後に、長文の暗記が記憶力の衰えの予防策として有効であったかどうか、書かねばならないだろう。

結論は出るはずもないが、片ほほだけニヤツと笑つて、「効き目はあったよ」といいたいのだが。

Mさんの出棺

Mさんは認知症が進んでいたもので、好物のプリンを食べ過ぎぬよう、スタッフが声をかけ、見守りつきで食べていました。あるとき談話室で一緒に食べていたら、同じ談話室にいた3人の入居者のまなざしが、ニコニコっ！と暖かく注がれているのがわかりました。きっと皆さんもMさんの食べる姿が微笑ましかったのだと思います。その後、Mさんの認知症ゆえのちょっとしたトラブルがあったあと、あの暖かいまなざしの人々が口々に非難の言葉を並べたときには心配しました。が、しばらくしてMさんが体調を崩し、そののち帰らぬ人となったときには彼らも出棺の式に出席し、手をあわせていたそうです。ああ、よかったなと思いました。きぼうのいえで出棺する際はスタッフだけということが多いのですが、Mさんが入居者の皆さんにも愛されていたことを確認できた思いがしたので。Mさんのご冥福をお祈りします。

■編集後記

今号、最後のページに寄稿をお願いした葛さんは、きぼうのいえが創立した最初期にボランティアとして活動していた私どもの大先輩にあたる方です。その後、通勤時間の関係もあつて辞められたのですが、最初は福祉施設で働く傍らで、そして今はボランティアで活動する傍らで、月に1度、入居者さんのためにと美味しい食材を届けに来て下さっています。それがもう10年も続いています。きぼうのいえの様々な側面にスポットをあてて後援会の皆さまにご報告したいと思い編集しているニューズレターの、今回の目玉のひとつがそんな葛さんです。葛さんは、「おやじヘルパーの老人福祉論外論」という介護エッセイを自費出版するなどの活動もしているのですが、その持続力…とでも言うのでしょうか…を、驚きと感謝の念をもって、謹んでご紹介させていただきます。(S)

法人名 特定非営利活動法人 きぼうのいえ

活動計算書

平成24年 4月 1日 ～ 平成25年 3月 31日 まで

(単位:円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1. 受取会費		
受取入会金	36,000	
個人会員受取会費	872,000	
法人会員受取会費	90,000	
月約会員受取会費	425,000	1,423,000
2. 受取寄付金		
一般受取寄付金	24,800,573	
教会受取寄付金	1,215,706	26,016,279
3. 受取助成金等		
受取地方公共団体補助金	7,200,000	7,200,000
4. 事業収益		
事業収益	44,351,958	44,351,958
5. その他収益		
受取利息	186,177	
雑収益	1,480,501	1,666,678
経常収益計		80,657,915
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	21,044,415	
臨時雇賃金	2,562,450	
退職金	50,000	
法定福利費	3,511,183	
福利厚生費	45,888	
人件費計	27,213,936	
(2) その他経費		
図書仕入れ	17,785	
旅費交通費	1,189,636	
通信運搬費	427,620	
消耗什器備品費	544,210	
消耗品費	172,214	
修繕費	550,715	
印刷製本費	292,089	
光熱水料費	3,927,458	
賃借料	6,572,430	
保険料	218,770	
諸謝金	96,000	
租税公課	428,100	
委託作業費	2,882,468	
厨房費	13,062,735	
支払利息	961,249	
支払手数料	189,765	
減価償却費	4,010,278	
雑費	100,274	
その他経費計	35,643,796	
事業費計		62,857,732
2. 管理費		
(1) 人件費		
給料手当	4,876,668	
人件費計	4,876,668	
(2) その他経費		
旅費交通費	234,120	
接待交際費	1,485	
諸謝金	13,000	
支払手数料	738,570	
雑費	21,627	
その他経費計	1,008,802	
管理費計		5,885,470
経常費用計		68,743,202
税引前当期正味財産増減額		11,914,713
法人税、住民税及び事業税		70,000
当期正味財産増減額		11,844,713
前期繰越正味財産額		78,247,565
次期繰越正味財産額		90,092,278